

1993
2014
3 / 1

府民の友

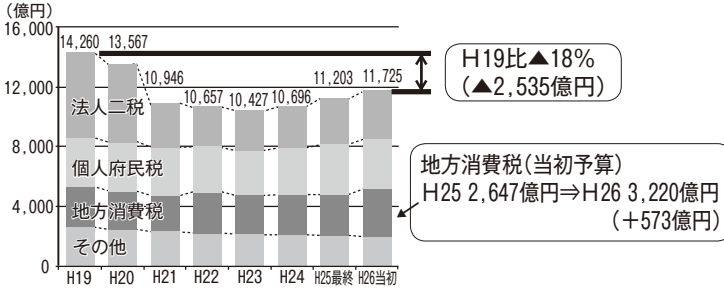
発行所/大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人/有田 洋明 編集人/樋口 浩之
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

2014国民春闘
批准投票結果
投票率75.1% 賛成率96.3%
批准率72.3%

府税収入の動向

景気回復で支えられた法人二税の増や地方消費税の増などにより、3年連続で増加中期でみるとリーマンショック前のH19年度比で▲18%の水準

	H25		H26	増減	
	当初	最終	当初	当初比	最終比
府 税	10,508	11,203	11,725	+1,217	+522
うち法人二税	2,753	3,050	3,257	+504	+207



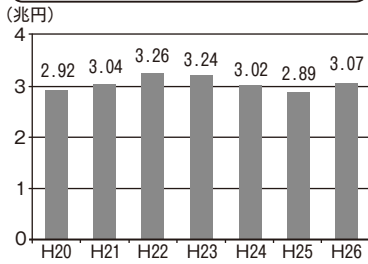
平成26年度当初予算額

財政規律の堅持、徹底した「選択と集中」による施策の重点化
4年ぶりの増額予算 (+6.1%)

	平成25年度	平成26年度	増減額	前年度比
一般会計	2兆8,948億円	3兆713億円	1,764億円	6.1%
特別会計	1兆3,966億円	1兆4,132億円	166億円	1.2%

*各表において、端数処理のため計と内訳が一致しない場合がある

一般会計当初予算額の推移



主な増要因

- 建設事業費(南海トラフ対策等) +517億円
- 社会保障(充実・自然増) +210億円
- 人件費(給与改定等) +284億円
- 地方消費税清算金・交付金(税率アップ影響等) +693億円

大阪府2014年度予算案発表

今こそ府民のくらし支える予算に

4年ぶりの増額予算

大阪府は2月14日に2014年度当初予算を発表しました。大阪府財政は、府税収入が法人二税中心に一定増え、消費税率引き上げにもなる増収などで3兆713億円と4年ぶりに増加しています。当初「財政状況が厳しい」と強調されていた府債は、歳入の1割程度(3,687億円)となり、減債基金の積み立て不足額を前倒しで復元する計画になっています。

しかし、この背景には、職員の賃金や府民のくらし・福祉などを大幅に削減してきたことがあります。もともと借金を大幅に増やした原因はムダな大規模開発を推進してきたことです。「平成26年度行財政改革の取り組み」については、今年度末に終了する「財政再建プログラム案」を継承した内容になっています。全体として、関西財界の意向に沿った「成長戦略」として、不要不急の大規模開発を推進する一方で、府民生活を削減する方針を踏襲しています。

南海トラフ地震対策など国の緊急経済対策で増額

今回の予算では、アベノミクスの影響で南海トラフ地震をはじめとした防災対策に大幅な予算が計上されています。防災会議等でも指摘されてきた密集住宅市

中之島図書館改修など前進面も

原発反対・自然エネルギーへの転換を求める運動の高まりを受け、エネルギー地産地消推進や、府営住宅の建替えやエレベーター設置なども行われます。また、私たちのたまたかいで勝ち取った職員の賃金引上げ

南海トラフ地震対策など強調されるも 開発優先の成長戦略が重点

理者制度の導入を検討していることは大きな問題です。

「大阪の再生として 大企業のための開発優先」

「鉄道ネットワーク」「広域ネットワーク」の充実・強化として、わずかな数の時間短縮にしかならぬ「なにわ筋線」の事業計画の検討、必要性に疑問のある「新名神高速道路」の促進事業などインフラ整備に莫大な予算を組んでいることは問題です。また、「箕面新町」「うめきた2期」の再開などムダな大

府・市統合関連も一部を除いて推進

橋下市長が「新たな大都市制度」の議論をしている法定協議会が思い通りに進まないことを理由にした「出直し選挙」が行われ、引き続き法定協議会との予算は組まれています。さらに、府市統合本部で推進してきた消防学校や中小

府政運営の基本姿勢

25年度「大阪の再生」への次なる一歩

- 健全で規律ある財政運営を堅持しつつ、徹底した「選択と集中」による施策の重点化
- 総合特区の取組みの本格化など、府・市で一本化した「大阪の成長戦略」のさらなる推進
- 専門性・広域性を発揮しながら、府民の安全・安心を守るセーフティネットをさらに充実
- 新たな大都市制度を見据え、事業の具体化の取組みを推進

これまでの「成果」を持続的な「成長」へ

26年度「東西二極の一極を担う『強い大阪』を実現

- 「選択と集中」による施策の重点化を図り、大阪の将来を見据え、府政を戦略的に推進
- 「成長」を支える、府民の安全・安心を守るため、南海トラフ巨大地震対策を中心とした防災・減災対策を充実
- 「大阪の成長戦略」のさらなる推進を図るため、「国家戦略特区」の指定獲得や成長を支える都市インフラを戦略的に整備

企業信用保証協会の統合や、住吉市民病院の廃止による事業等についても予算化されています。

くらしや医療、雇用などは手薄、切り捨て

一方で、府民のくらしや医療、福祉の予算は引き続き削減の方向です。

福祉部でも民間保育園の運営負担金、ひとり親支援の事業、女性自立支援センター運営費などが削減されています。健康医療部では、地域医療連携、災害医療連携、児童虐待予防や自殺対策、府立病院運営負担金などを削減し、前年度比89.5%となっています。

ブラック企業など社会問題になっている雇用対策などは、中小企業、府営住宅、まちづくり関連予算も大幅に削減されています。

くらしを守る 予算こそ経済活性化に

いま、急速に府民の貧困と格差はひろがっています。自治体の本来の役割は、住民のいのちとくらしを守ることであり、社会保障を拡充することは住民の生活改善にもなり、消費不況を打開し経済の活性化にもつながります。無駄な大規模開発や大企業のもうけに役立つ事業へ大盤振る舞いするのは、府民の抱えるさまざまな問題、要求にこたえられない、府民生活の実態から大阪府としてやるべき政策と財政運営こそ求められています。

遊歩道

昨年11月大阪で開催された日本のうたごえ祭典の合奏コンクールで、全国のいくつかの

合奏団が取り上げ、好評を得た曲に「街の灯」がある。東日本大震災でふるさとを失った人々への共感をうたうこの曲を作詞した高元豊子さんは、土木事務所に務める府職員組合員である。作者の手柄をのびせるあたたかさの中にも、震災で多くを失った被災者の悔しさをのぞきと復興への祈りが感じられる。作曲は俺達のシルクロード」などで知られる元国鉄労働者のたかだけうじ氏。詩によくあつたうたいやすいうたで、知らず知らず口ずさんでしまう▼地震と津波が奪い去ったふるさと、そこにあった人の絆、それを取り戻すために不可欠な個人住宅再建への支援を拒み、原発再稼働に突き進む、震災を忘れたかのような冷たい政治、そして厳しい寒さが続く▼いまだに9割の被災者が仮設住宅などの避難先で4度目のあの日を迎えようとしている。被災地にこれから訪れる春が本当に暖かい春であるよう、支援の取り組みを広くてゆきたい。(Y)

